



本気

春日部市立正善小学校
学校だより 10月号
令和元年度 No.7
令和元年9月30日

一人一人の瞳が輝き、磨き合い・高め合いながら、伸びる喜びを味わえる学校

充実の秋、読書の秋で更なる成長を！

校長 窪田 忍

何をするにも最適な季節となりました。特に読書は、子どもたちの心と頭に直接働きかけて、学力の根っこ部分をつくります。

以前読んだ本の中で、「読書」について、次のように述べられていました。

「音読にしても黙読にしても音声化できる活字情報は、脳内でいったん音声情報に変換され、記憶と照合されます。その結果、単語や接続詞などの文法要素が検索され、言語野へと送られて、単語の意味や文章として認識されるのです。これが『読む』という行為です。」と。

また、読書は、人の想像力を高めます。例えば本から入ってくる情報量が少ないとき、脳は活字・音声・映像などの情報を、想像力を使って補てんすると言われます。想像力は足りない情報を補い、あいまいな部分を解決しながら自分の言葉として認識する人間だけに与えられた能力です。この想像力は、読書によって鍛えられます。つまり、読書は、脳の働きを活性化させることができる力をもっているのです。

この充実の秋、子どもたちに「読書のすすめ」をしていきたいと思います。

あいさつの効用

『朝起きたら、家の人に「おはよう」とあいさつをしていますか』というアンケート調査が、ある雑誌に載っていました。結果は、「いつもする」という人が55%、「だいたいする」が25%、「あまりしない」が20%という結果でした。皆さんは、これをどう受け止められるでしょうか。

人と人のふれあいは、まず「あいさつ」から始まります。きちんとしたあいさつは、人格の表現の一つでもあり、一種のバロメーターとも言えます。好ましい人間関係が作れるかどうか、このあいさつにかかっているといっても過言ではないでしょう。ここでいう「あいさつ」とは、①人に会った時や別れる時などに取り交わす礼にかなった動作や言葉を指します。更に、②相手に対して敬意や謝意などを表すこと等、その動作や言葉を指しています。「おはようございます」「さようなら」「ありがとうございます」などの言葉です。見落としてはいけないのは、言葉に動作が伴っていること、礼にかなっているという点です。

9月9日から9月13日までの5日間、本校でも「チェンジ大作戦」と銘打って、学校全体であいさつ運動を行いました。学校では、子どもたちに、相手に伝わる気持ち良いあいさつができるように指導しています。その成果も出てきています。ご家庭でも、お声がけをよろしくお願いいたします。



9月の正善小学校 始業式～子供たちの立派な態度に2学期への意気込みを感じます～

2学期スタート

9月2日(月)に始業式が行われ、2学期が始まりました。校長先生からは、「あたりまえのこと17か条の生活行動面の7か条」と「得意なものや好きなことを頑張ること」についての講話がありました。「7か条が全員できるようになって欲しい。」「努力が苦にならないほど好きなことを見つけて欲しい。」と、お話がありました。その後、児童代表2名が、それぞれの2学期の抱負を発表しました。「聞く・待つ」とともに立派な態度で臨んだ始業式の子供たちの姿に、大きな成長と意気込みを感じました。



避難訓練・ショート訓練

防災週間に、災害から自分の身を守る訓練を2つ実施しました。9月3日(火)は、緊急地震速報をもとに、大型地震の発生を想定した避難訓練を行いました。地震速報を聞いて、第一次避難体勢を取り、揺れが収まった後、安全な場所に避難する途中で、再度強い地震が起きるという事態を想定した訓練でした。当初は校庭に避難をする予定でしたが、雨のため体育館への避難でした。急な変更でも子供たちは真剣に整然と取組み、全員無事避難にすることができました。

9月4日(水)に、雷・竜巻の発生を想定した避難訓練を行いました。椅子と机を移動してシェルターを作り、身を守る動作の実践をしました。



元気いっぱい 優しさいっぱい 本気・全力 正善っ子

9月4日(水)の業前の時間に「たてわり集会」を行いました。6年生がリーダーとなり、学年を超えて仲よく遊びました。太陽がいっぱいの時間には「逆上がり教室」を行いました。6年生がコツを教えたり、補助をしたりしました。初めて逆上がりのできた子が6人いました。がんばっている姿が、輝いていました。



図書支援員の先生が任期満了となり、正善小学校を去られました。先生としてのお仕事はもちろんですが、図書貸出システムのバーコード化に際しては、本当にお世話になりました。そして、新しい先生が、正善小学校へいらっしゃいました。どうぞよろしくお願ひします。